

# あれから一か月...



チリ地震津波をダイジェストする

あれから一か月一悪魔の爪跡にも似た被災地の惨状は容易に消えそうもない。それでも被災者たちは、たくましい復旧意欲にもえて生活の立てなおしをはかつており、県もまた救援対策に全力を傾け復興の早期実現に努めている。以下は、今次津波災害の発生から県の対策（六月二十日現在）を中心とした一連のあらましである。（カット写真は、県正庁に設けられた災害対策本部）

## 災害のあらまし

五月二十四日早朝、本州太平洋沿岸を襲った津波により、本県三陸沿岸各地は、一瞬にして交通、通信ともに杜絶し言語に絶する惨状を呈した。

三陸沿岸の津波禍には三十年周期説があるといわれるが、こんどの津波は、かつて死者二千名を出した昭和八年三月の大津波を上廻るとも劣らない大災害を沿岸地方、とくに宮古以南の地域にもたら

した。震源地が三陸沖と違つて、南米チリに発生したものであり、その地震波がまる一日かかつて太平洋を南半球から北半球に渡つてきたため、内陸に住む人達には何らの予感を与えなかつたことほもちろん、沿岸の人達もごく一部の人が海水や川水の異状を見て始めて津波来襲を予知した程度でありまつたく、文字どおり「寝耳に水」のできごとであつた。

また、昭和八年に起つた大津波に際し被害が激甚をきわめた地域では比較的小

微だつたのに対し、前回殆んど被害をみなかつた地区において目をおおするような惨害をこうむつてゐることなどをみてもこんどの津波には前例によつて判断できないいろいろな特徴があつた。いずれにせよ、こんどの津波により本県が受けた被害は次に述べるようにきわめてぼう大なものであり、それだけに今後の本県産業経済に及ぼす影響は決して少いものではない。

## 県下の被害状況

ところで、県下の被害は、土木施設、農林業施設、漁業施設および家屋等に対する損害を生じ、また、人命においても死者五七名、行方不明五名、重軽傷者三〇八名を数え、罹災世帯六、九七四世帯、罹災者数実に三五、九二二名を数えるに至つた。これを表で示すと次表のとおりとなる。

（被害額は単位千円）

被害総額表 (35.6.20現在)

罹災者	人数	35,921
	世帯	6,974
被害額	死者	59
	重傷	308
	軽傷	31
	罹災世帯	277
	罹災者	277
被害額	土木施設	11,513,939
	農林業施設	2,923,060
	漁業施設	1,505,794
	家屋等	731,634
	その他	602,558
	公共施設	2,657,439
	その他	2,781,075
	その他	31,150
	その他	278,899
	その他	2,330

## 県の災害対策

災害発生の通報を受けた県は、五月二十四日、災害救助法に基く災害救助隊本部を設け、小川副知事を本部長として応急救助の方途を講じ、また、同月二十七日からは災害対策本部を設けていままお総合的な災害対策に當つてゐる。

災害発生から現在までの主な対策は次のようになつてゐる。

### ▽災害救助法の適用

災害発生当日の被害状況の把握は交通通信網が殆んどマヒ状態になつたため困難をきわめたが、あらゆる方途を講じた結果、被害激甚な大船渡市、陸前高田市、釜石市、宮古市、大槌町、山田町の四市二町に対し災害救助法を適用することを決定、直ちにその旨告示した。

また、緊急部長会議の決定に基づき班長以下五人をもつて構成する総合指導班を四班編成して被災地に派遣し、現地との連絡指導に当らせた。

一方、各地に数カ所づつの避難所を設置し、また炊出しを実施して救援に当たるとともに毛布、シャツ、石けんなどの物資、日用品約三万点を緊急輸送した。

また、各地から寄せられた見舞金品のうち第一次分及び第二次分として一、〇〇〇千円を六月三日、同

月十六日の二回にわたり県厚生部長、日赤事務局長らが持参、各地に配分した。

▽衛生対策  
「医療救護」県医療局救護班二二班、日赤救護班二七班がそれぞれ派遣されたが両班を通じての取扱患者数は二、一四三名となつてゐる。

「防疫活動」県内の防疫資材在庫量の調査を行い、現地からの要請があり次第直ちに発送できる態勢を整えた一方、石灰、クレゾール、D・D・Tなど防疫資材の輸送を行つた。

「水道復旧事業」大船渡市、陸前高田市、宮古市、山田町など被災地域における水道配水管などの流失、破損箇所の修理を急いだ結果、何れも100%の工事進捗をみた。

▽自衛隊の災害派遣

災害発生後、被災各地から自衛隊の派遣要請があつたため、知事より岩手駐屯地司令に対し災害派遣を要請した結果東北方面総監部管下の建設大隊、衛生中隊等総員二、九二六名の派遣が行われ、被災者の救助作業、障害物の除去、堤防道路等の応急復旧、防疫作業などに活発な活動が行われた。とくに、陸前高田市の潮止め作業には第九混成団の一、四六三名が六月一日から同月十七日までの長期にわたつて出勤、困難といわれた同作業の完成に当るなど、今次災害のきわめて有力な救援力となつた。

各地における自衛隊災害派遣の状況は

次のとおりである。

大船渡市	八一〇名
陸前高田市	一、六五四名
宮古市	六六名
大槌町	一五〇名
山田町	二四〇名
釜石市	六名



「復旧作業ありがとうございます。小川副知事から一本木自衛隊隊長に感謝状贈呈」

計 二、九二六名  
なお、このほか釜石市に対して岩手駐屯地部隊八八名が自主出動して救援作業に当つた。

▽商工（金融）対策

商工中金及び国民金融公庫では六月一日、大船渡市に災害融資相談所を設けるなど、それぞれ復旧資金の融資の途が講ぜられたが、各金融機関を通じての融資目標は二、八三三、〇〇〇千円となつており、これに対し融資決定額は三二二一件一九六、〇二〇千円となつてゐる。

▽農林対策

「食糧需給」八二俵の精米緊急輸送をはじめ六月末まで一人二斗の増配を行うこととしその配給券を送付した「塩害除去」除塩工事が必要とする面積は五八八畝におよぶが、この塩害を除くため水のかけ流し、あるいは一部石灰施用など応急措置を講じた結果七二%の進捗をみている。

▽住宅対策

「緊急つなぎ資金」その所要見込額は、およそ五〇〇、〇〇〇千円とみられるがこの対策として県預託金八〇、〇〇〇千円の予定のうち四〇、〇〇〇千円は預託金であり、また、信漁連五六、八二〇千円、市中銀行一四八、七〇〇千円の貸付決定がなされている。

「資材のあつせん」種々の供給はすでにおわり、苗の供給について、内陸部各地の協力を得て、九三三把の供給計画を立て、六月十日からトラックなど一八輛をもつて被災各地に輸送を行つた。

「養殖種苗の確保」種がきの総所要量は二一五、六〇〇連とみられ、このうち二

住宅の被害が多かつた状況から住宅の確保を重点対策として①応急仮設住宅二七一戸の建設②災害公営住宅四二〇戸の建設及び八〇戸の修理などを目標にそれぞれの措置を講じている。

前途はまだ多難

こんどの災害は、前に述べた総額百十五億余の直接的被害にとどまらず、この本県産業経済の方向に、計りしれないほどの痛手を与えた。すなわち、宿命的とまでいえる後進性の脱却をめざして県総合開発が推進されている矢先だけに、臨海工業都市として脚光を浴びはじめた大船渡市をはじめ沿岸主要都市が軒並みに惨禍の渦中に投ぜられたことは、かえすがえすも遺憾というほかはない。

被災地三万五千の県民が、泥海の中から懸命の力をふりしほつて立ち上ろうとしてゐるのを見聞きするにつけても、今次対策こそ二度とこの惨禍をくり返さないような抜本的なものでなければならぬことが誰にも痛感されるところであり政府の強力な援助とともに県民の温かい支援がますます望まれる。

被災岩手市の前途はまことに多難である。

☆☆☆☆

家屋崩壊した大船渡市の惨状



山田線法の脇付近の鉄道破かい現場

子り地震津波災害状況市町村別一覧表

6月20日現在

区分 市町村別	罹者 数	建物 数	農林水産					商工	飲	文 教 共 所	公 設 他	被害総額 千円
			耕地 千円	木 千円	土 千円	畜 千円	産 千円					
陸前高田市	3,688	432,630	668,700	441,417	132,184	835,250	51,395	8,470	2,570,046			
大船渡市	7,466	1,149,900	295,974	86,575	156,763	332,823	2,157,482	12,112	4,191,629			
釜石市	6,524	185,210	113,060	14,222	79,080	236,225	170,227	911	798,935			
宮古市	3,797	272,400	265,610	73,732	73,098	273,769	51,227	24,418	1,034,254			
久慈市	192	7,310	3,740	—	18,118	27,897	2,526	808	60,399			
大槌町	6,542	364,330	49,200	3,993	47,579	338,227	156,840	3,030	963,191			
山田町	7,461	489,310	41,500	43,558	41,237	485,121	191,378	1,030	1,293,134			
田老町	—	—	—	—	6,054	896	—	—	6,950			
岩泉町	—	—	—	—	12,403	569	—	—	12,972			
種市町	64	3,070	59,200	—	5,143	31,519	—	100	99,032			
三陸村	55	700	3,200	2,250	17,704	41,561	—	—	65,415			
田野畑村	—	—	—	323	1,881	21,289	—	—	23,491			
普代村	—	—	5,610	400	1,701	15,078	—	—	22,789			
野田村	132	18,200	—	65,164	9,613	17,217	—	—	110,194			
計	35,921	2,923,060	1,505,794	731,634	602,558	2,657,439	2,781,075	312,379	11,513,939			

(その他公共施設261,500)